

代理店通信 30 鳥取県

今回はテラセルの販売にご協力頂いている「岡三リビング株式会社 山陰営業所」様からのご意見や感想を紹介します。

多様な設計条件に対応できるテラセル擁壁工法

テラセル® 擁壁工法 / NETIS 登録番号：KT-090023-VE

岡三リビング株式会社 山陰営業所 合田 正徳 (大阪府 出身)



テラセル擁壁工法が採用されたのは2018年3月に供用が開始された山陰自動車道内の朝山大田道路となります。山陰自動車道は鳥取県鳥取市から山口県下関市までを繋ぐ高規格幹線道路として計画されている路線で、朝山大田道路は島根県大田市内に位置する延長6.3kmの区間となっています。

■ 施工概要

工事名：朝山大田道路久手地区改良第18工事

施工主：島根県 松江国道事務所

施工会社：今岡工業株式会社

施工規模：

・TW-150M(3セル) 627枚(249.1㎡)

・TW-150M-CL5(5セル) 685枚(272.2㎡)



当路線には以前より間知ブロック等の現場打ち擁壁が多く採用・施工されています。そういった箇所の多くは設計が過去に実施されており、修正設計時に新しい公的指針に則って見直しを実施しています。

今回も各工法と比較を行い、経済性・施工性を評価された事でテラセル工法が採用に至りました。

テラセル工法は「補強土壁等と異なり、補強材を土中に設置する必要が無い事から切土を最小限に抑制できる構造的」、「重機等の使用を最小限に抑え、人力で施工可能である施工性」を両立させている点に加え、経済性にも富んでいる工法です。今後も東京インキ(株)さんと連携し、設計案件・工事案件への提案を継続していきたいと考えます。



老朽化した水路の入れ替えに 「グランドセル三面水路」 グランドセル®工法

名古屋支店 加工品営業部 安達 英志 (愛知県名古屋市 出身)

現場は長野県中信地区、諏訪市の生活排水路の老朽化による改修工事です。

諏訪湖周辺に特有の軟弱な地盤に計画されたため、もともとの既設水路も支持力対策として、当該エリアでは実績の多い松杭による水路の沈下対策を行い、300のベンチフリュームが設置されていました。

約40年近くの前の物のため、地元の要望もあり入れ替えを計画がされていましたが、同様に既設水路を設置し直すと発注者にとって工費、工期ともに予算化するには頭を抱えるものとなっていました。代替案を模索されていたところにグランドセルを使用した三面水路を提案したところ、支持力対策が不要になり、さらに水路の断面形状も見直し、既存水路よりも流量量の改善効果も期待できることで採用に至りました。

(当初の計画に比べ工費・歩掛ともに半分程度に収まりました。)

施工手順は、床掘りさえ済めば、吸出し防止として効果の高い不織布の「トレップ®」を敷設し、ジオセル特有の施工性により後は簡易に展開・設置ができます。全体を3人で終わらすことができ、発注者、施工業者ともに満足いただけるものとなりました。

これにより当該工事延長箇所は来年度以降も随時既設水路を入れ替えていく計画となっております。



施工前



施工中



施工完了後

